

OJI HOLDINGS

2024年11月7日(木)

決算説明会資料

王子ホールディングス株式会社



01

2024年度第2四半期
決算概要

① 2024年度2Q累計 連結業績概要	5
② セグメント別売上高・営業利益 (2023年度2Q累計対2024年度2Q累計)	8
③ セグメント別利益増減分析	
生活産業資材セグメント	9
機能材セグメント	10
資源環境ビジネスセグメント	11
印刷情報メディアセグメント	12

02

2024年度業績予想

① 2024年度 連結業績予想	14
② セグメント別売上高・営業利益 (2024年度予想)	17
③ セグメント別利益増減	18
④ 外部環境の変動による影響	19
⑤ 2024年度 当初予想との比較	20
⑥ セグメント別売上高・営業利益 (2024年度修正予想)	23

03

トピックス

① 持続的な成長に向けた取り組み	25
② 森林機能の取り組み	27
③ 既存事業の取り組み	30
④ 環境配慮型パッケージングの早期拡大	32
⑤ 木質バイオビジネス	39

04

参考資料

セグメント別売上高推移/連結営業利益推移/自己資本利益率(ROE)推移/連結純有利子負債残高推移
連結設備投融资・減価償却費推移/連結就業人員推移/2024年度2Q累計 業界需要動向

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に掲載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。

従いまして、本資料のみに準拠して投資判断されますことをお控えくださいますようお願い致します。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

01

2024年度第2四半期決算概要

① 2024年度2Q累計 連結業績概要



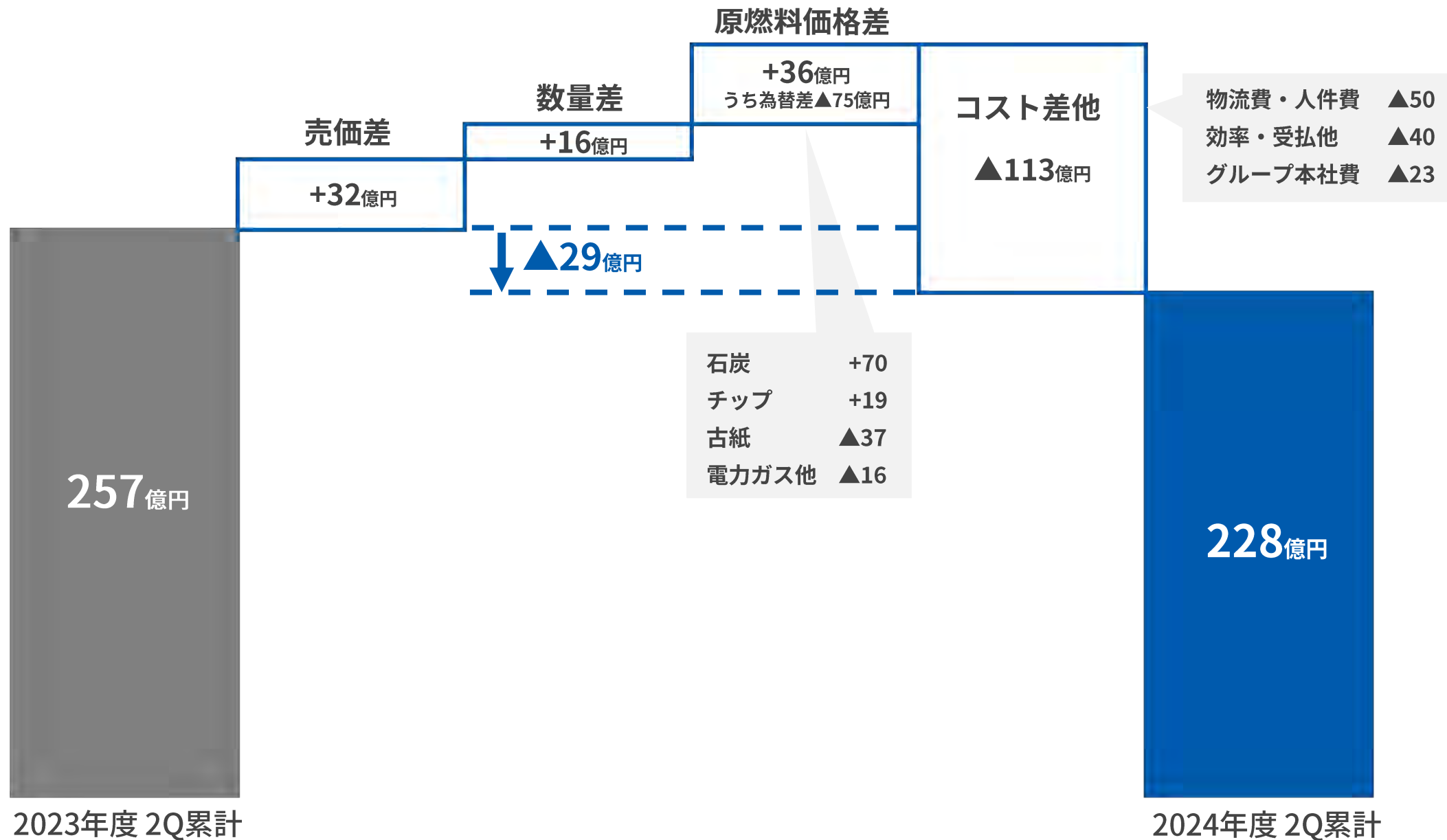
(単位：億円)

	2023年度 2Q累計実績	2024年度 2Q累計実績	増減
売上高	8,471	9,229	758
営業利益	388	372	▲16
(うち国内事業会社)	(257)	(228)	(▲29)
(うち海外事業会社)	(131)	(144)	(13)
経常利益	508	394	▲114
親会社株主に帰属する 中間純利益	316	242	▲74
減価償却費	391	412	21
海外売上高比率	34.4%	40.9%	6.5pt
為替レート [期中平均・円/US\$]	141.1	152.8	11.7
連結子会社	95社	94社	▲1社
国内	105社	124社	+ 19社
海外	200社	218社	+ 18社
合計			

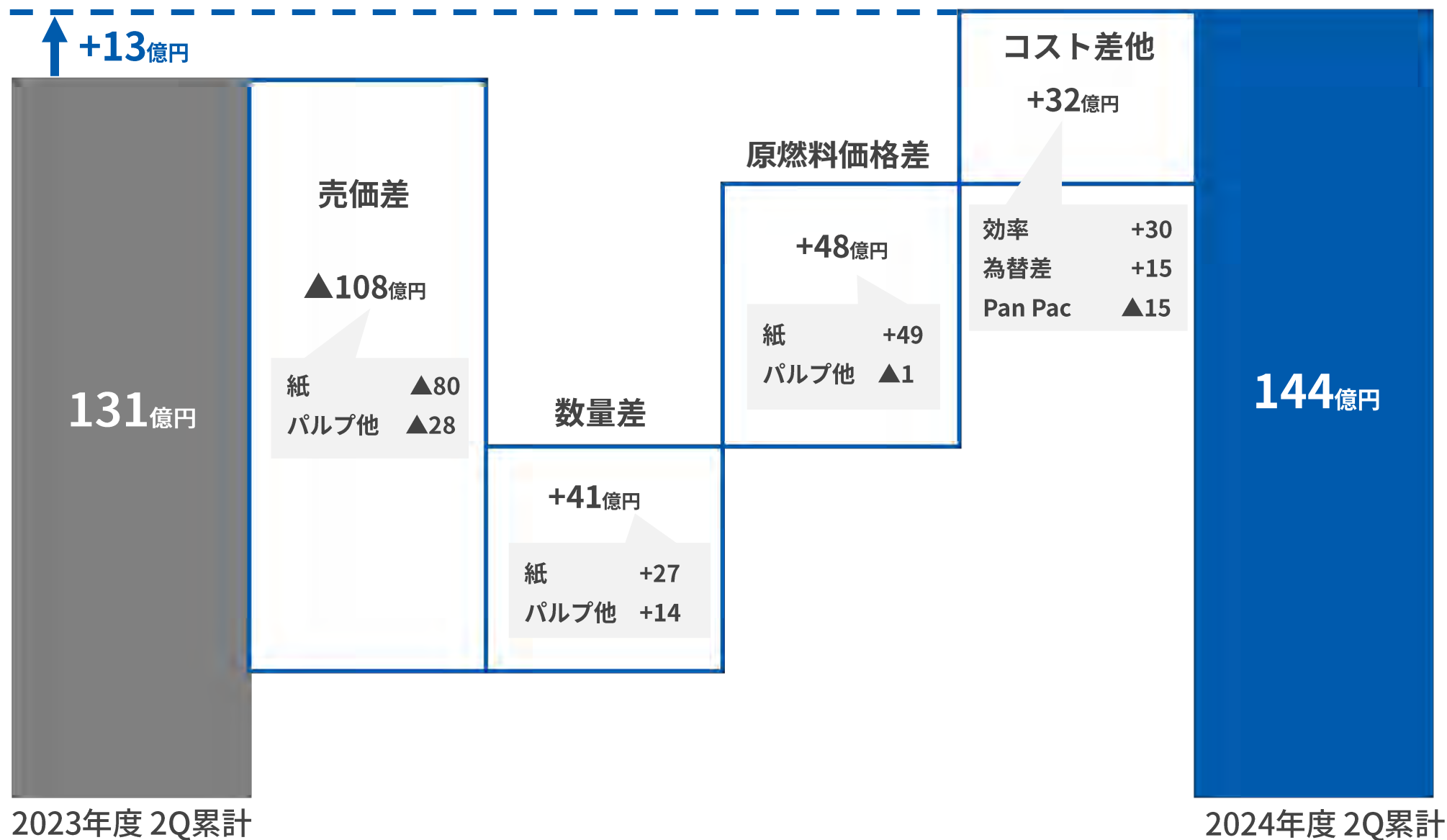
国内 : 印刷関連▲1

海外 : ウルグアイ植林関連+1、ヨーロッパパッケージング関連+21、中国フィルター関連▲1、シンガポール段ボール関連▲1、シンガポールラベル関連▲1

① 2024年度2Q累計 連結業績概要 国内会社 営業利益対前年同期増減内訳



① 2024年度2Q累計 連結業績概要 海外会社 営業利益対前年同期増減内訳



② セグメント別売上高・営業利益（2023年2Q累計 対 2024年2Q累計）

(単位：億円)

	2023年度2Q累計実績		2024年度2Q累計実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
生活産業資材	3,991	56	4,183	38	192	▲18
機能材	1,138	44	1,215	67	77	23
資源環境ビジネス	1,805	187	2,023	175	218	▲12
印刷情報メディア	1,490	71	1,462	41	▲28	▲30
その他	47	30	347	52	300	22
連結合計	8,471	388	9,229	372	758	▲16

※ 1 売上高にはセグメント間売上を含む

※ 2 その他には調整額を含む

③ セグメント別利益増減分析

■ 生活産業資材 国内は数量増もコスト増により減益、海外はNZの原燃料価格悪化により減益

営業利益 増減額

▲18 億円

2024年度2Q累計

売上高 営業利益

4,183 億円 38 億円
国内72 億円 海外▲34 億円



2023年度2Q累計

売上高 営業利益

3,991 億円 56 億円
国内76 億円 海外▲20 億円

国内事業 ▲4億円

その他コスト要因 ▲40億円
(うち人件費・物流費▲38)

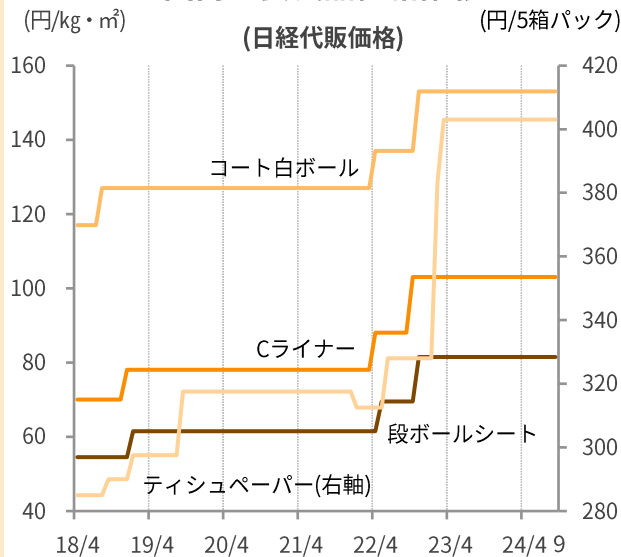
販売・市況要因 +31億円
他

海外事業 ▲14億円

販売・市況要因 ▲31億円

原燃料価格差 +22億円
(うち東南アジア+33、NZ▲11)
他

国内主要製品価格推移



主要燃料価格推移

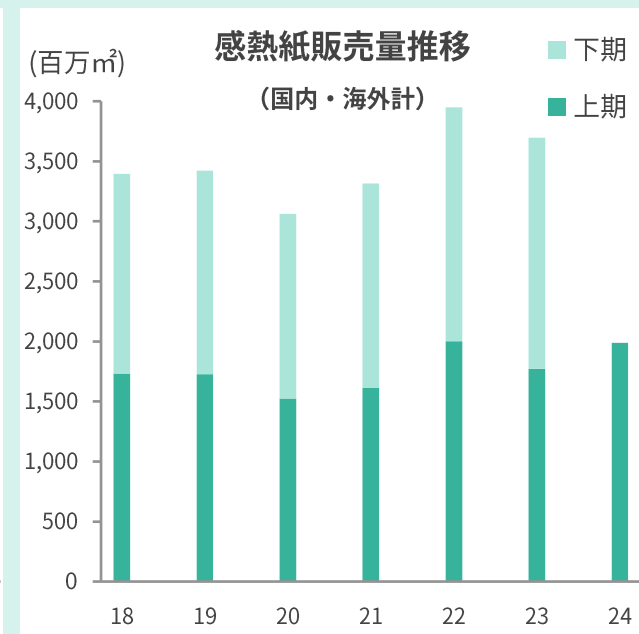
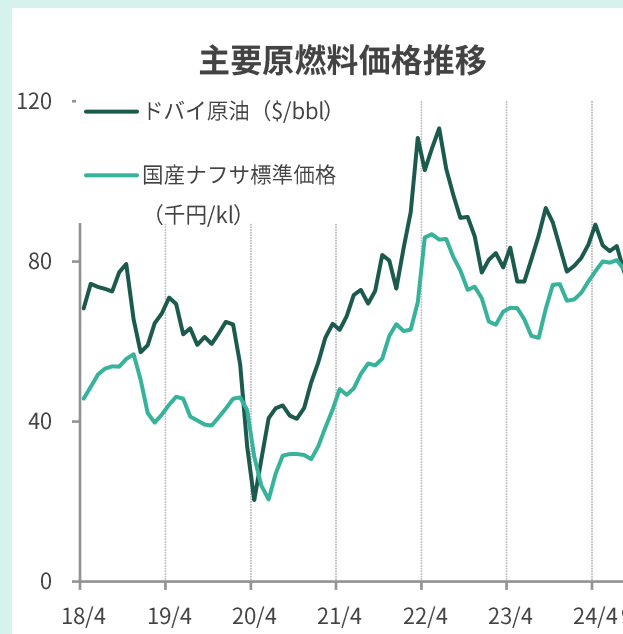


		2023年度2Q累計			2024年度2Q累計			増減			
主要製品売上高実績(注)		販売数量 (千t・百万㎡)	販売単価 (¥/kg・㎡)	販売金額 (億円)	販売数量 (千t・百万㎡)	販売単価 (¥/kg・㎡)	販売金額 (億円)	販売数量 (千t・百万㎡)	対前年比 (%)	販売単価 (¥/kg・㎡)	販売金額 (億円)
板紙	国内計	1,398	85.63	1,197	1,410	86.34	1,217	12	100.9%	0.71	20
段ボール (百万㎡)	国内計	1,505	76.56	1,152	1,504	76.81	1,155	▲1	99.9%	0.26	3

(注) 連結グループ内生産会社の合算値、グループ内消費を含む

③ セグメント別利益増減分析

■ 機能材 国内は数量増等により増益、海外は原燃料価格良化により増益



主要製品売上高実績(注)	2023年度2Q累計			2024年度2Q累計		
	販売数量 (百万㎡)	販売単価 (円/㎡)	販売金額 (億円)	販売数量 (百万㎡)	販売単価 (円/㎡)	販売金額 (億円)
感熱紙 (百万㎡) 国内・海外計	1,772	25.91	459	1,988	24.82	493

増減			
販売数量 (百万㎡)	対前年比 (%)	販売単価 (円/㎡)	販売金額 (億円)
215	112.1%	▲1.08	34

(注) 連結グループ内生産会社の合算値、グループ内消費を含む

③ セグメント別利益増減分析

資源環境ビジネス Pan Pac 稼働再開

営業利益 増減額

▲12 億円

2024年度2Q累計

売上高 営業利益

2,023 億円 175 億円
国内22 億円 海外153 億円



2023年度2Q累計

売上高 営業利益

1,805 億円 187 億円
国内24 億円 海外163 億円

海外事業 ▲10億円

Pan Pac ▲15億円
他

NBKP

725 \$/t → 750 \$/t 745 \$/t 750 \$/t 760 \$/t

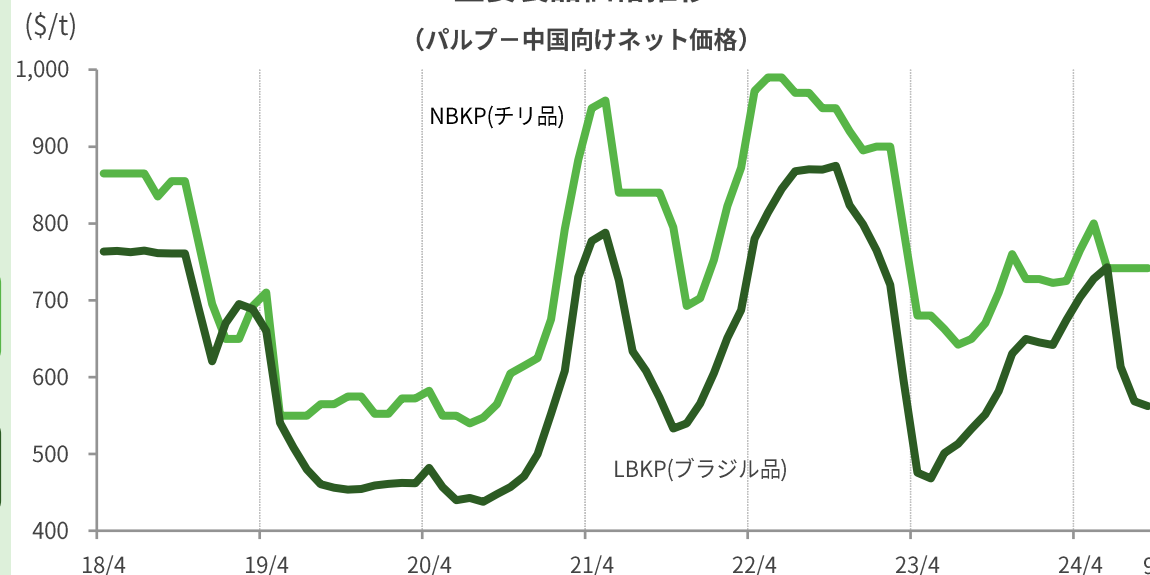
LBKP

580 \$/t → 635 \$/t 690 \$/t 575 \$/t 560 \$/t

2023年 (1-12月実績) 2024年 (1-12月想定) 2024年 (1-6月実績) 2024年 (7-12月想定) 参考 (足元10月)

主要製品価格推移

(パルプー中国向けネット価格)



		2023年度2Q累計			2024年度2Q累計			増減			
主要製品売上高実績(注)		販売数量 (千 t・GWh)	販売単価 (円/kg)	販売金額 (億円)	販売数量 (千 t・GWh)	販売単価 (円/kg)	販売金額 (億円)	販売数量 (千 t・GWh)	対前年比 (%)	販売単価 (円/kg)	販売金額 (億円)
販売パルプ	国内・海外計	951	100.60	957	1,069	109.55	1,171	118	112.4%	8.96	214
販売電力 (GWh)	国内事業	942	-	-	800	-	-	▲ 143	84.9%	-	-

(注) 連結グループ内生産会社の合算値、グループ内消費を含む

③ セグメント別利益増減分析

■印刷情報メディア 国内はコスト増により減益、海外はコスト減等により増益

営業利益 増減額

▲30 億円

2024年度2Q累計

売上高 営業利益

1,462 億円 41 億円
国内39億円 海外2億円



2023年度2Q累計

売上高 営業利益

1,490 億円 71 億円
国内81億円 海外▲10億円

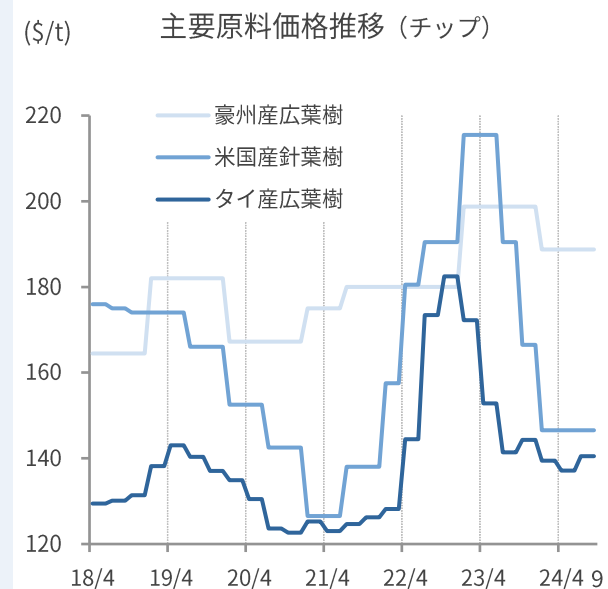
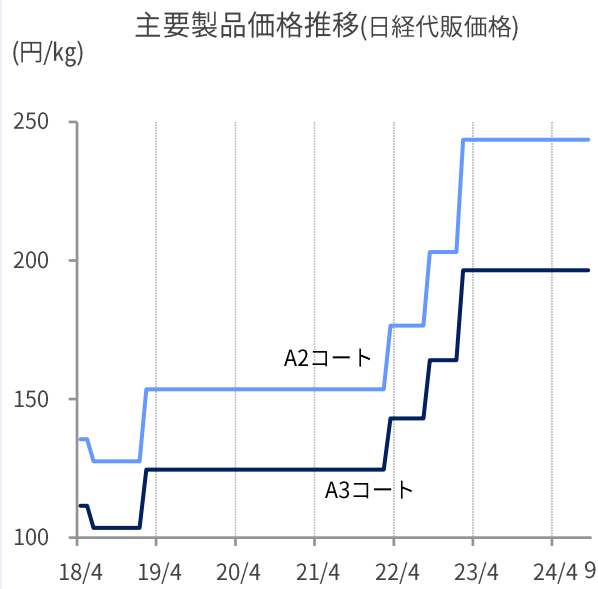
国内事業 ▲42億円

その他コスト要因 ▲66億円
(うち人件費・物流費▲13)

原燃料価格差 +24億円
他

海外事業 +12億円

原燃料価格差 +4億円
その他コスト要因 +7億円
他



主要製品売上高実績(注)	2023年度2Q累計			2024年度2Q累計			増減			
	販売数量 (千 t)	販売単価 (円/kg)	販売金額 (億円)	販売数量 (千 t)	販売単価 (円/kg)	販売金額 (億円)	販売数量 (千 t)	対前年比 (%)	販売単価 (円/kg)	販売金額 (億円)
新聞・印刷情報用紙 国内事業	851	126.92	1,080	804	126.35	1,016	▲47	94.5%	▲0.57	▲64

(注) 連結グループ内生産会社の合算値、グループ内消費を含む

02

2024年度業績予想

① 2024年度 連結業績予想

(単位：億円)

	2023年度	2024年度予想	増減
売上高	16,963	18,770	1,807
営業利益	726	700	▲26
(うち国内事業会社)	(648)	(500)	(▲148)
(うち海外事業会社)	(78)	(200)	(122)
経常利益	860	730	▲130
親会社株主に帰属する 当期純利益	508	570	62
減価償却費	795	880	85
海外売上高比率	34.9%	40.7%	5.8pt
為替レート [期中平均・円/US\$]	144.6	153.9	9.3

2024年度予想前提条件

◆前提

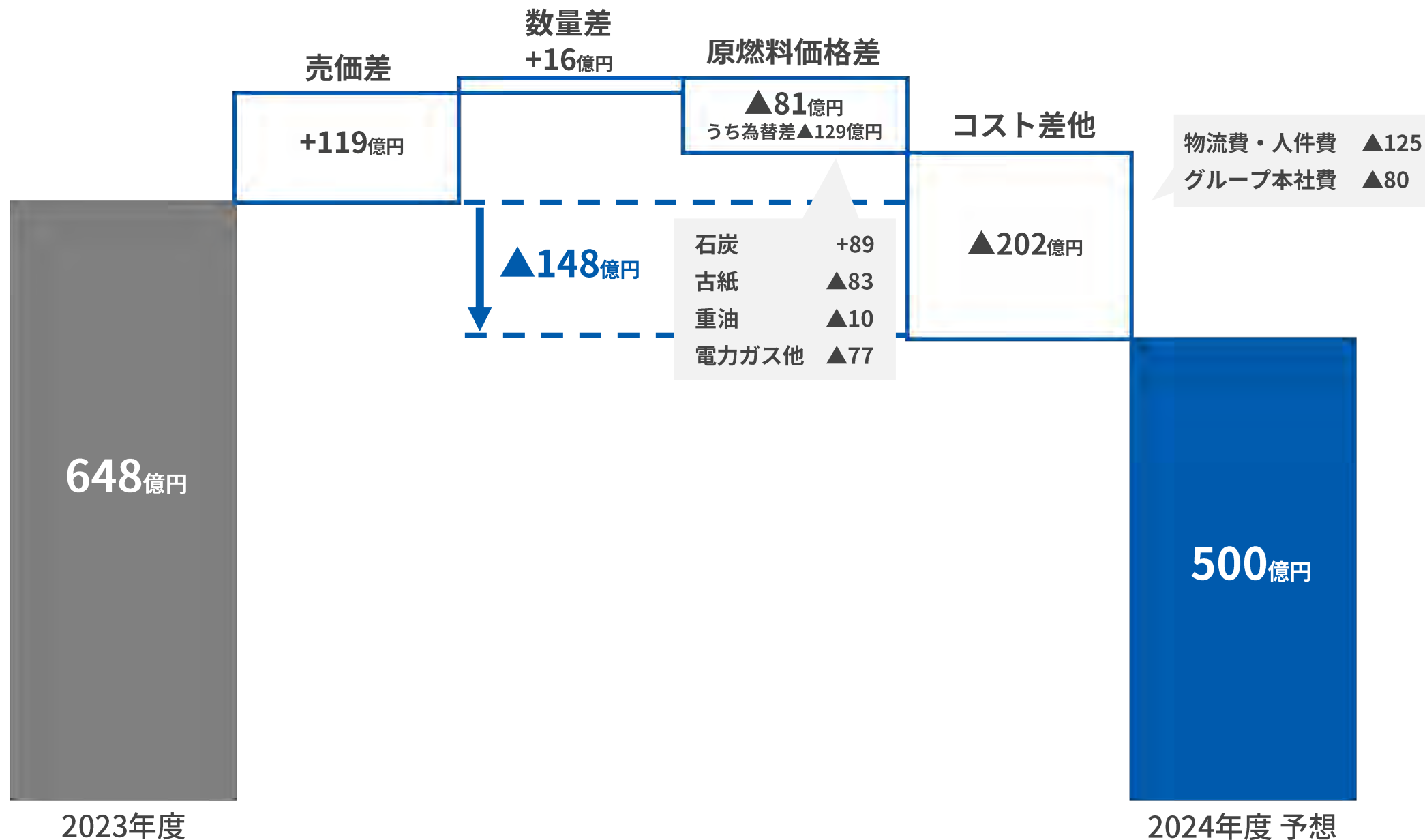
- ・為替レート : 155円/USD (下期想定レート)
- ・チップ : 現行契約ベース
- ・古紙 : 現行価格レベル横ばい
- ・石炭 : 足元豪州一般炭価格ベース (150USD/t)
- ・重油 : 足元ドバイ原油価格ベース (75USD/bbl)

◆営業利益への変動影響 (年間)

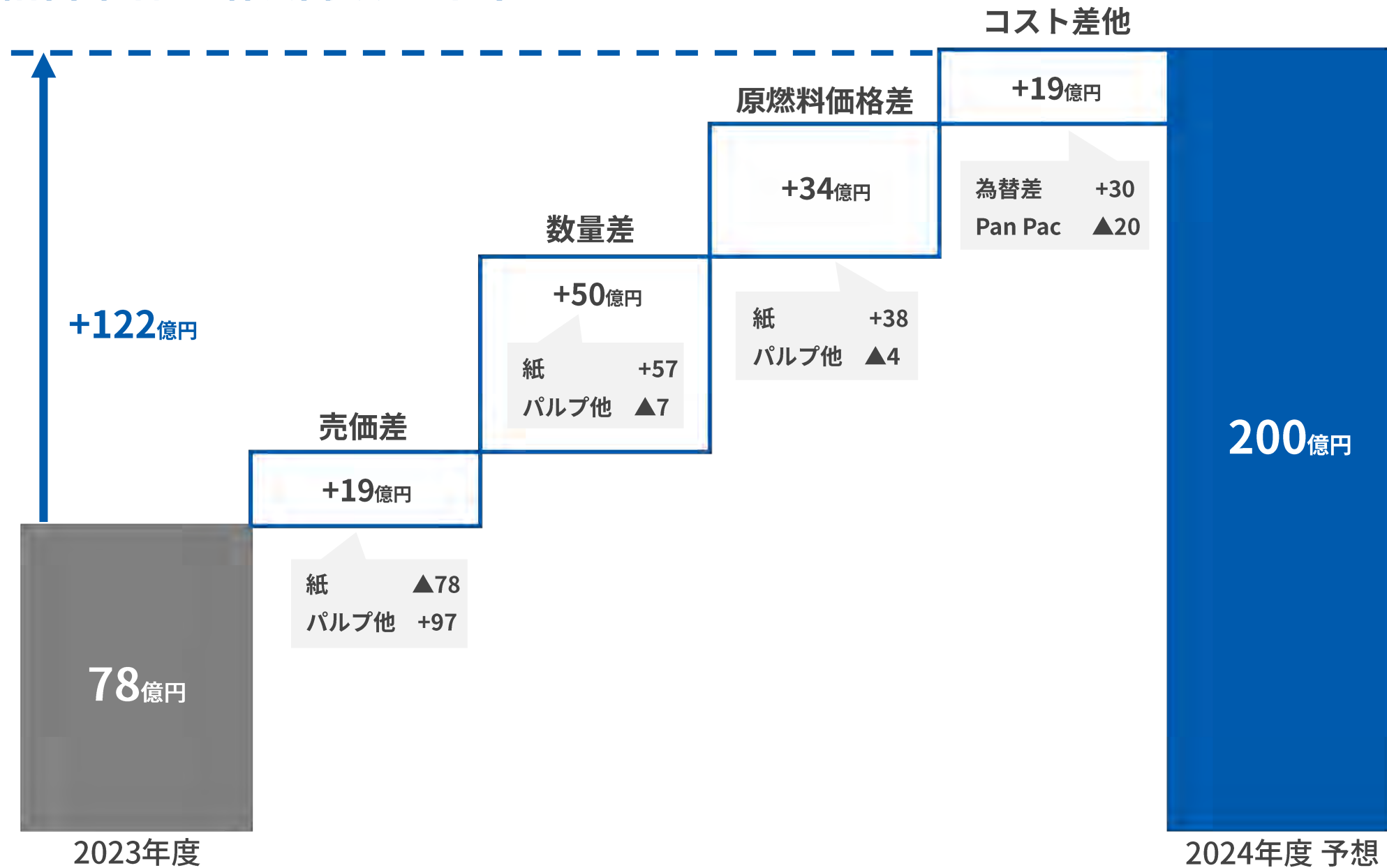
- ・為替レート [円]
[ブラジルリアル]
[NZドル]
- ・パルプ価格
- ・チップ価格
- ・古紙価格
- ・ドバイ原油価格

- ：対USドル1%変動につき±約8.3億円 (USドル高ー)
- ：対USドル1%変動につき±約4.1億円 (USドル高+)
- ：対USドル1%変動につき±約8.2億円 (USドル高+)
- ：10USドル/t 変動につき±約31.6億円 (パルプ高+)
- ：10USドル/t 変動につき±約51.4億円 (チップ高ー)
- ：1円/kg変動につき±約30.7億円
- ：1USドル/bbl変動につき±約3.4億円
- (重油、バンカーオイル、ナフサ関連製品 他)

① 連結営業利益増減内訳 国内 (2023年度 対 2024年度)



① 連結営業利益増減内訳 海外 (2023年度 対 2024年度)



② セグメント別売上高・営業利益（2024年度予想）



OJI HOLDINGS

(単位：億円)

	2023年度実績		2024年度予想		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
生活産業資材	7,987	212	8,466	110	479	▲102
機能材	2,275	91	2,401	120	126	29
資源環境ビジネス	3,596	196	4,092	300	496	104
印刷情報メディア	2,994	168	2,930	90	▲64	▲78
その他	111	59	881	80	770	21
連結合計	16,963	726	18,770	700	1,807	▲26

※1 売上高にはセグメント間売上を含む

※2 その他には調整額を含む

③ セグメント別利益増減

生活産業資材 セグメント		2023年度	2024年度	営業利益 ▲102億円	国内事業 ▲78億円 海外事業 ▲24億円
	売上高	7,987	8,466		
	営業利益	212	110		
	(うち国内)	(261)	(183)		
	(うち海外)	(▲49)	(▲73)		
	営業利益率	2.7%	1.3%		
機能材 セグメント		2023年度	2024年度	営業利益 +29億円	国内事業 ▲1億円 海外事業 +30億円
	売上高	2,275	2,401		
	営業利益	91	120		
	(うち国内)	(72)	(71)		
	(うち海外)	(19)	(49)		
	営業利益率	4.0%	5.0%		
資源環境ビジネス セグメント		2023年度	2024年度	営業利益 +104億円	国内事業 +0億円 海外事業 +104億円
	売上高	3,596	4,092		
	営業利益	196	300		
	(うち国内)	(55)	(55)		
	(うち海外)	(141)	(245)		
	営業利益率	5.5%	7.3%		
印刷情報メディア セグメント		2023年度	2024年度	営業利益 ▲78億円	国内事業 ▲82億円 海外事業 +4億円
	売上高	2,994	2,930		
	営業利益	168	90		
	(うち国内)	(174)	(92)		
	(うち海外)	(▲6)	(▲2)		
	営業利益率	5.6%	3.1%		

④ 外部環境の変動による影響

(億円/年)

◆営業利益への為替変動影響			生活 産業資材	機能材	資源環境 ビジネス	印刷情報 メディア	影響額 合計
2024年度下期想定レート							
米ドル建 損益・取引影響 (米ドル10%高)	円 (※)	155.00 円/USD	▽	▽	▲	▽	▲ 83
	ブラジルリアル (BRL)	5.70 BRL/USD			▲		▲ + 36
	ニュージーランドドル (NZD)	1.67 NZD/USD	▲		▲		▲ + 82

(※) 米ドル建て損益の円換算影響を含む

◆営業利益へのパルプ価格変動影響			生活 産業資材	機能材	資源環境 ビジネス	印刷情報 メディア	影響額 合計
パルプ販売・購入影響(10USドル/t 高)			▽	▽	▲	▽	▲ + 34

⑤ 2024年度 当初予想との比較

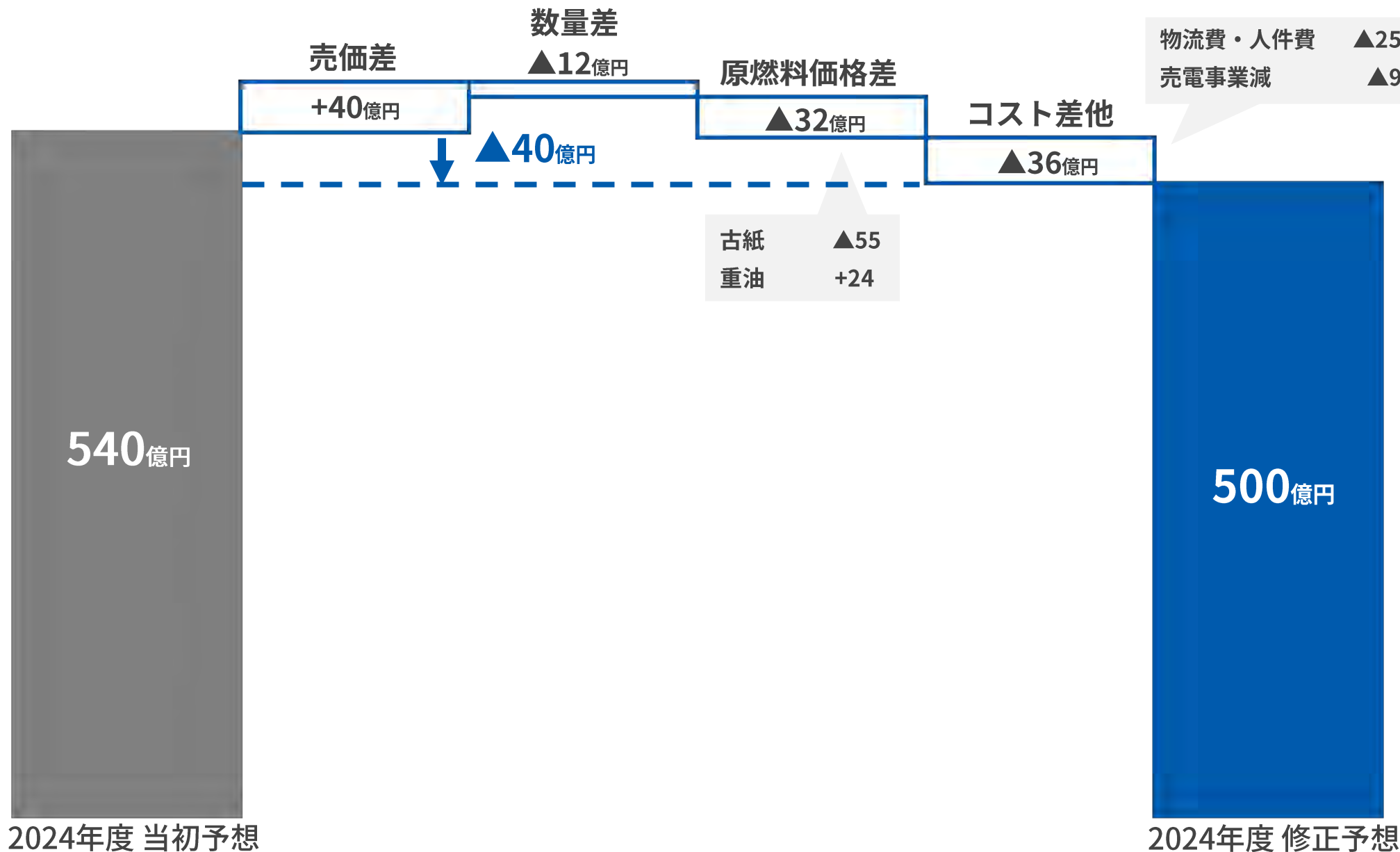
(単位：億円)

	2024年度予想(当初)	2024年度予想(修正)	増減
売上高	19,500	18,770	▲730
営業利益	950	700	▲250
(うち国内事業会社)	(540)	(500)	(▲40)
(うち海外事業会社)	(410)	(200)	(▲210)
経常利益	1,000	730	▲270
親会社株主に帰属する 当期純利益	750	570	▲180
減価償却費	920	880	▲40
海外売上高比率	41.6%	40.7%	▲0.9pt
為替レート [期中平均・円/US\$]	155.0	153.9	▲1.1
配当額 (円/株)	24	24	-
配当性向	31.5%	41.7%	10.2pt

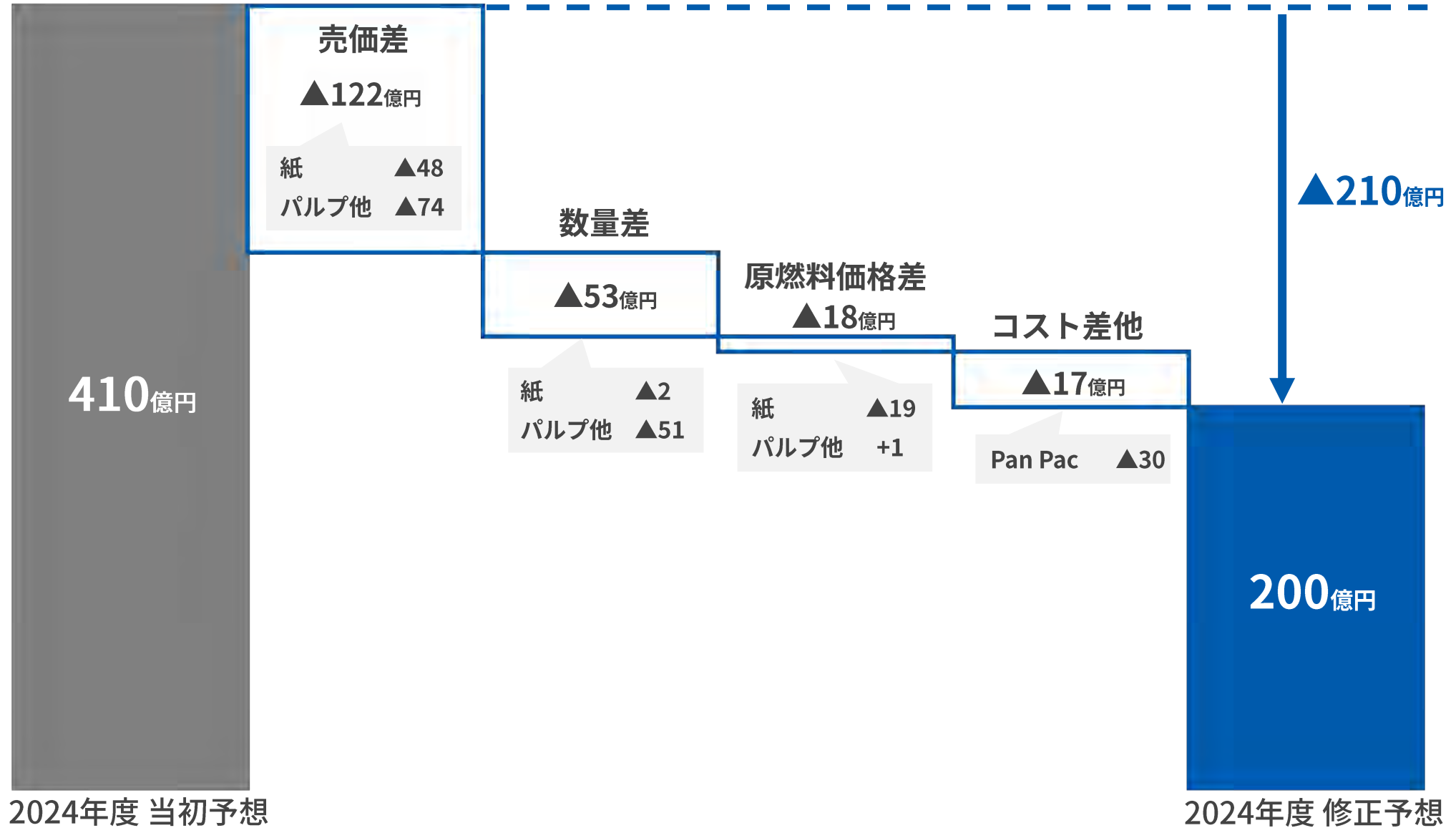
配当方針

長期的な企業価値向上に向けた成長投資に備えるための内部留保を勘案しつつ、1株当たりの年間配当24円を下限として当面は減配を実施せず収益力に応じた安定的な配当を継続することを基本とし、配当性向30%を目安として実施する

⑤ 連結営業利益増減内訳 国内 (2024年度当初予想 対 2024年度修正予想)



⑤ 連結営業利益増減内訳 海外 (2024年度当初予想 対 2024年度修正予想)



⑥ セグメント別売上高・営業利益（2024年度修正予想）

(単位：億円)

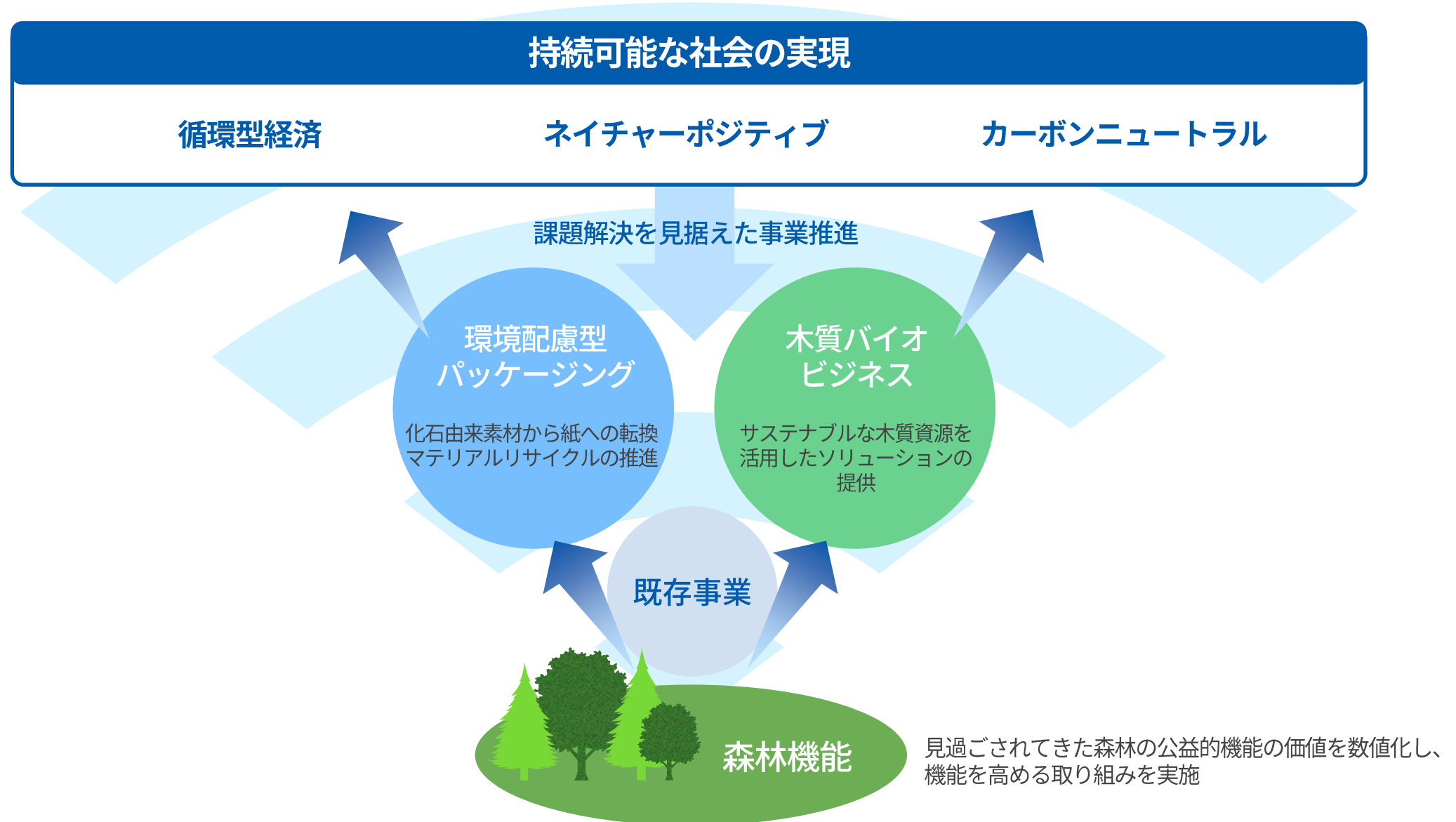
	2024年度予想(当初)		2024年度予想(修正)		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
生活産業資材	8,660	200	8,466	110	▲194	▲90
機能材	2,470	110	2,401	120	▲69	10
資源環境ビジネス	4,420	470	4,092	300	▲328	▲170
印刷情報メディア	2,980	120	2,930	90	▲50	▲30
その他	970	50	881	94	▲89	44
連結合計	19,500	950	18,770	700	▲730	▲250

※ 1 売上高にはセグメント間売上を含む

※ 2 その他には調整額を含む

03

トピックス



持続的な成長に向けた取り組み 進捗状況



OJI HOLDINGS

①経済価値評価

・国内社有林の経済価値評価の結果および
さらなる定量化プロジェクトの実施を発表

②TNFDレポート

・「王子グループTNFDレポート2024」を発行

①苫小牧9号マシン

・生産体制再構築実施
・将来的に木質バイオビジネスへ転換

②資産のスリム化

・資産の再活用・売却推進
・保有株式の縮減推進

①Walki採用事例

・仏大手乳業メーカーでWalki社の紙パッケージが採用
・環境配慮型包装の積極的展開

②Deluxeへの出資

・台湾の高品質パルプモールド
設備・製品製造販売会社への出資

③マテリアルリサイクル

・星野リゾート様と新ビジネスモデル構築
・使用済み紙コップをハンドタオルにリサイクル

④コンテスト入賞

・2024年日本パッケージコンテスト入賞
・王子マテリア開発の透明化しやすい原紙「サンカヨウ」

⑤東京パック出展

・サステナブル包装資材のソリューションを提供

①(プラスチック、燃料)
糖液・エタノール

・糖液：2024年12月、エタノール：2025年3月頃完成予定
・石油由来燃料を木質由来に置き換え、脱炭素化に貢献

②バイオものづくり

・「NEDOバイオものづくり革命推進事業」に採択
・バイオ製紙工場をバイオものづくり工場へと転換

③セルロース
樹脂複合ペレット

・アセトアルデヒド発生量が少ない
「タフセルペレットVF」の開発に成功

④甘草・木質由来医薬品

・王子ファーマが第一種、第二種医薬品製造販売業許可取得
・甘草の医薬品・化粧品・食品分野への展開

環境配慮型 パッケージング

早期拡大を目指す

① Walki
採用事例② Deluxe
への出資③ マテリアル
リサイクル④ コンテスト
入賞⑤ 東京パック
出展

既存事業

① 苫小牧
9号マシン② 資産の
スリム化

木質バイオビジネス

次世代の中核ビジネス

① (プラスチッ
ク、燃料)
糖液・エタ
ノール② バイオ
ものづくり③ セルロース
樹脂複合
ペレット④ 甘草・木質由来
医薬品

将来

中期

短期

森林機能

経済価値化を目指す

① 経済
価値評価② TNFD
レポート

森林資源に根付いた事業運営



出典：公益財団法人 紙の博物館

渋沢栄一により会社設立



王子造林の設立



生産林

セニブラ（ブラジル）

環境保全林

世界の王子の森 **63.5万ha**

生産林 **47.2万ha**

再植林によるサステナブル経営

環境保全林 **16.3万ha**

森林の保全活動に注力

1873

1875

1890

1937

2024

森林資源に根付いた
ネイチャーポジティブ経営を継続

木材パルプ製造開始

東京都王子に工場建設

ボロ切れをリサイクル原料として紙を生産

「木を使うものには、木を植える義務がある」

1930年代 当社社長 藤原銀次郎

トピックス

①

▶ p.28

森林の公益的機能の見える化

トピックス

②

▶ p.29

生物多様性保全への取り組み

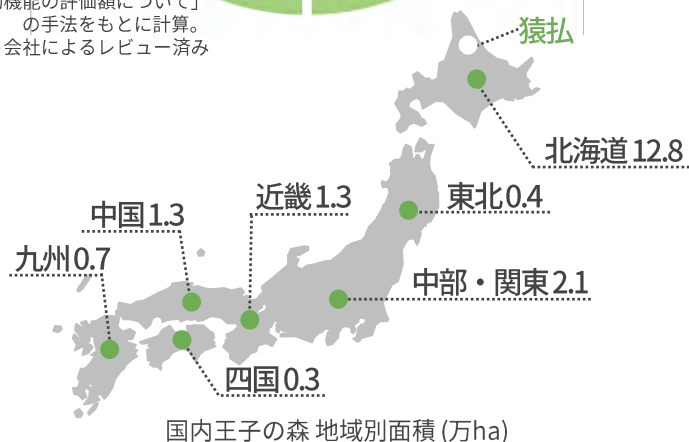
①森林の公益的機能の見える化と猿払における生物多様性定量化プロジェクト

ネイチャーポジティブ推進に向け、森林の非財務情報の見える化を実施

国内社有林19万haの公益的機能の価値評価



※林野庁「森林の公益的機能の評価額について」の手法をもとに計算。
社外環境アセスメント会社によるレビュー済み

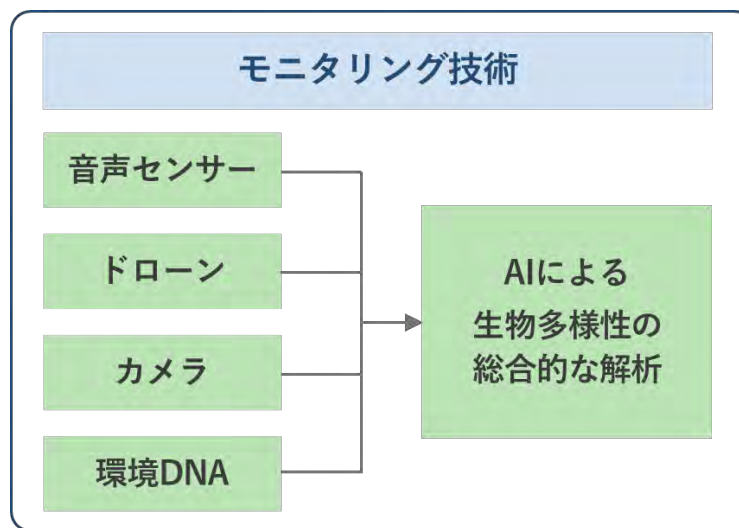


猿払における生物多様性定量化プロジェクト

- 生物多様性の重要度が高いと推定される北海道猿払村の「王子の森」で、さらに精度を高める取り組みを実施中
- 北海道大学や生物多様性可視化の技術を有するスタートアップと協働



猿払山林のモケウニ沼とオホーツク海の遠景



鳴き声の音声解析センサー



ドローンによる植生の撮影

②TNFDレポートの発行



王子グループの自然関連課題と取り組みを開示

➡ 自然の価値を見える化し、その価値を高める取り組みを加速

TNFDレポートのトピックス

王子グループ最大規模のCENIBRA（ブラジル）森林

主な取り組み

- 所有・管理する250千haの森林のうち107千haは環境保全林（43%）
- 生物多様性の定期モニタリングの実施
- 森林再生、絶滅危惧種の保護等多くの保護・保全活動の実施
- CENIBRA INSTITUTEによる地域コミュニティとの密接な関係構築



2001年度



2022年度

荒地における森林再生

- 約50年にわたる持続可能な森林経営を実践
- 生物多様性保全活動によるポジティブな影響が企業活動による圧力を上回っていることを示すLIFE認証を取得
- 自然への依存、インパクト、リスク、機会を特定し、対応を整理
- 自然関連の測定可能な期限付きターゲットを設定

生物多様性重要性の高い国内森林



高知県木屋ヶ内社有林に生息するセイロチョウ

- 高知県木屋ヶ内社有林がOECMとして登録され、30by30達成に貢献
- 生物多様性の重要度や水源涵養機能などの定量化に取り組み、森の価値を見える化
- 森林機能の経済価値は年間約5,500億円

① 生産設備停止



OJI HOLDINGS

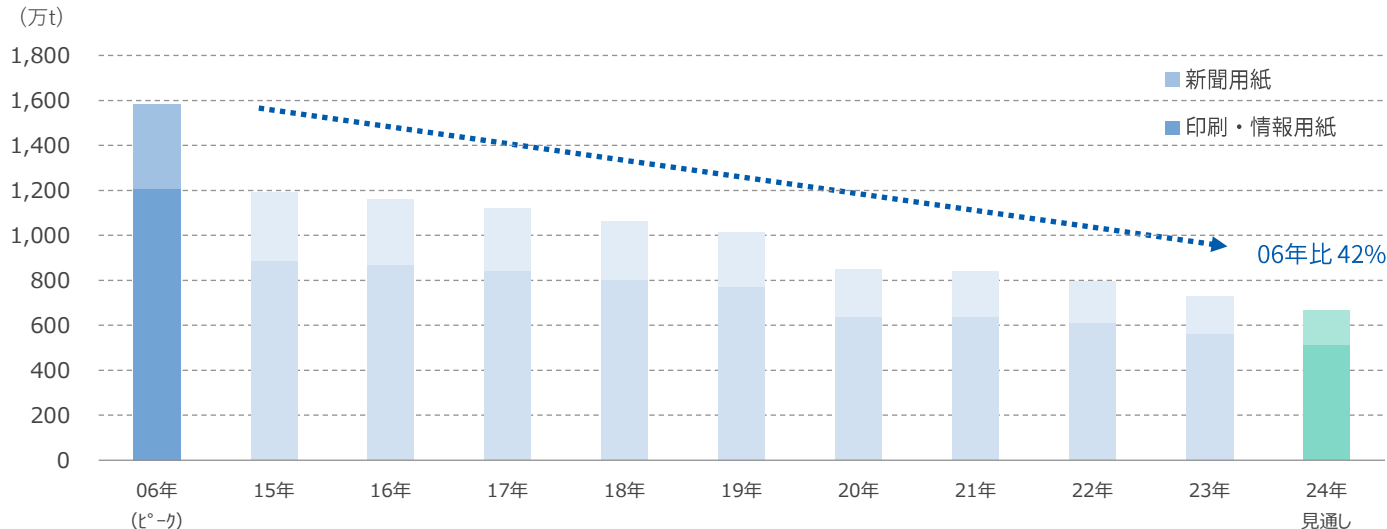
固定的コストの削減、マシン集約による生産効率の改善と最適生産体制の構築

概要	名称	生産品種	年産能力削減割合
	王子製紙苫小牧工場 9号マシン	印刷用紙	▲5%

グラフィック用紙（新聞用紙、印刷・情報用紙）の内需動向

構造的な環境変化（ICT化の進展、少子化、人口減少等）に伴い2006年をピークに継続的に減少

<グラフィック用紙 内需推移>



出典：日本製紙連合会 紙・板紙内需推移

08年以降のグラフィック用紙生産設備停止

停止台数	21台 (20年以降で5台)
年産能力削減数量	178万t/年
年産能力削減割合	▲53%
今後の方向性	・当面の需要減少に応じて、設備停止を進め効率悪化を回避、キャッシュフロー経営を徹底 ・将来的にグラフィック用紙生産工場を木質バイオビジネスに転換

②資産のスリム化

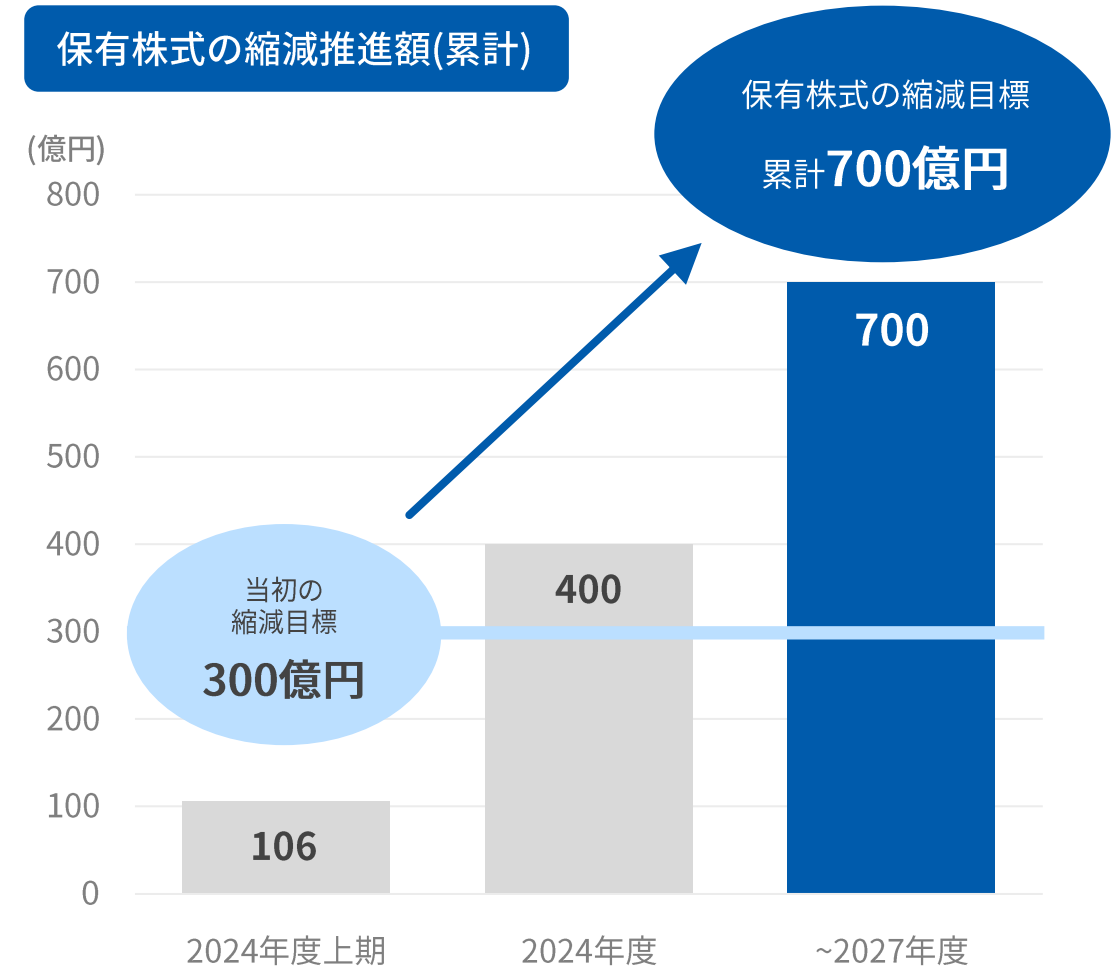


資産の再活用/売却推進

- 都内に保有する賃貸用不動産の随時売却の方針決定
- 引き続き非コア事業、資産売却を検討

保有株式の縮減推進

- 政策保有株式縮減の更なる取組強化
- 退職給付信託株式を中心に保有株式の徹底的な見直し



売却代金は、持続的成長のための投資、株主還元(配当、自己株式取得)等に活用

脱プラソリューション提供に向けた取り組み



OJI HOLDINGS

既存事業

製品ラインナップ強化、技術・ノウハウ獲得、
エリア拡大

カーボンニュートラルに寄与する
トータルパッケージング

製品

段ボール
一般包装用紙
一般紙器

- ・液体紙容器会社買収（イタリア/IPI）
- ・紙器会社共同買収（ベトナム/Songlam）
- ・包装資材加工会社買収（フィンランド/Walki）
- ・パルプモールド会社出資（台湾/Deluxe）
- ・フッ素フリー耐油紙の開発
- ・ポリ乳酸を使用したラミネート紙
- ・マテリアルリサイクルの推進

段ボール
一般包装用紙
一般紙器
液体紙容器
高機能包装用紙
(フッ素フリー・バリア性等)
パルプモールド

エリア

日本
東南アジア
オセアニア

トピックス
①
▶ p.33

欧州 包装材に関する環境規制対応事例
(仏ブランド菓子製品)

トピックス
②
▶ p.34

高品質パルプモールド
設備・製品製造会社(台湾)への投資

日本
東南アジア
オセアニア
インド
欧州

① 欧州 包装材に関する環境規制対応事例（仏ブランド菓子製品）

採用
事例

仏大手乳業メーカーLaïta社※1のブランド「Paysan Breton」の外装袋に、Walki製 リサイクル可能な紙パッケージが採用

～欧州の厳しい規制基準をクリアする紙ベースのパッケージングソリューションを提供～

背景：包装材に関する環境規制が先行する欧州

 フランス **AGEC**※2 循環型経済を推進するための
使い捨てプラスチックの禁止

 EU **PPWR**※3 包装・包装廃棄物規制
包装資材のリサイクル率向上


対応を迫られる
ブランドオーナー

プラスチック使用量削減

リサイクル可能な紙包装資材
への切り替え

需要
拡大

Walki 社

欧州/包装資材加工のトップメーカー
(2024年4月より王子グループ)

Walki 独自の加工技術による提案

- お客様の従来包材の包装機械適性や強度等の品質を保ちながら、
リサイクル可能な紙パッケージ
- 印刷加工プロセスの最適化により
印刷再現性を向上させ、
店頭映えするパッケージ



Laïta社ブランド「Paysan Breton」
クレープ菓子 外装袋

Walki社の主な環境配慮型パッケージング

- (消費者向け)
- ・アルミレスの蓋材
 - ・プラスチックフリーの紙ベース包装
 - ・PETフリーの食品トレイ
- (産業用)
- ・耐水/耐油性付き段ボール

今後の
展開

日本やアジア、オセアニアなど各地域においても、サステナブルパッケージングソリューションを拡大し、

環境配慮型パッケージング分野で持続可能な成長と業界のリーダーシップを確立

※1) フランス、ブルターニュ地方に本拠を置き、高品質な乳製品を世界中に展開するグローバルメーカー

※2) Anti-Gaspillage pour une Économie Circulaire (循環型経済のための廃棄物対策に関する法律)

※3) Packaging and Packaging Waste Regulation (EUの包装廃棄物の削減、包装資材のリサイクル率向上を目的とする規制)

② 高品質パルプモールド設備・製品製造 Deluxe社(台湾)への出資



① 欧州を中心に広く採用実績のある小型電化製品用トレイ ② 食品容器
③ 繊細なエンボス、スマートな形状も可能

【Deluxe社概要】

会社名	Deluxe Technology Group Co., Ltd
本社所在地	台湾 台北市
事業内容	パルプモールド製造設備及び パルプモールド製品の製造・販売事業

Deluxe社の強み

強度と美粧性を持つ

高品質パルプモールド製品

高い
技術力

開発力

採用
実績



- グローバルブランドオーナーに支持されるゼロテーパー※技術
- 電化製品や化粧品、食品用途などの厳しい品質要求にも対応
- 高度な寸法安定性で量産、欧州・アジアで広い採用実績

※「ゼロテーパー」とは、金型の抜き方向に対して側面が完全に垂直な形状であり、極めて高い精度が要求される加工技術

王子グループは
製造設備及び
パルプモールド製品の

全世界における

販売権を
取得

うち

日本

インド

独占販売権

脱プラスチック需要に対応

パルプから高品質パルプモールド製品を一貫製造し、

サステナブルなトータルパッケージングソリューションを拡充

段ボールや紙器を含めた複合提案するビジネスモデルを、日本・インド・東南アジア・オセアニア・欧州などに展開

マテリアルリサイクルの取り組み

継続してさまざまな種類の古紙の資源化に取り組み、高い古紙利用率を維持
さらなる古紙利用率向上を目指した取り組みを実施

古紙を原料とした紙生産開始

1950
年代

- 機密文書の古紙利用
- 難離解古紙処理設備の設置
- 紙管・ワンプ・ラミ紙の古紙利用

古紙回収に出せない禁忌品扱いとして
焼却処分されていた紙コップ等の
再資源化

マテリアルリサイクルを通じた
持続可能な社会への貢献

使用済み
紙コップ
紙パック
Etc.

再資源化

段ボール
ハンドタオル
Etc.

【直近の取り組み事例】



トピックス

③

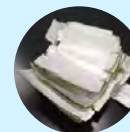
▶ p.36

星野リゾート様との取り組み

リサイクルシステム提案による
新ビジネスモデル構築



スーパーホテル様との取り組み
段ボールにリサイクル



テトラパック様との取り組み
段ボールにリサイクル



ザスパ群馬様/栗原医療器械店様/国際紙パルプ商事様との取り組み
BOXティッシュの箱にリサイクル



清水建設様との取り組み
ハンドタオルにリサイクル



③リサイクルシステム提案による新ビジネスモデル構築

リサイクル推進事例：星野リゾート様との取り組み

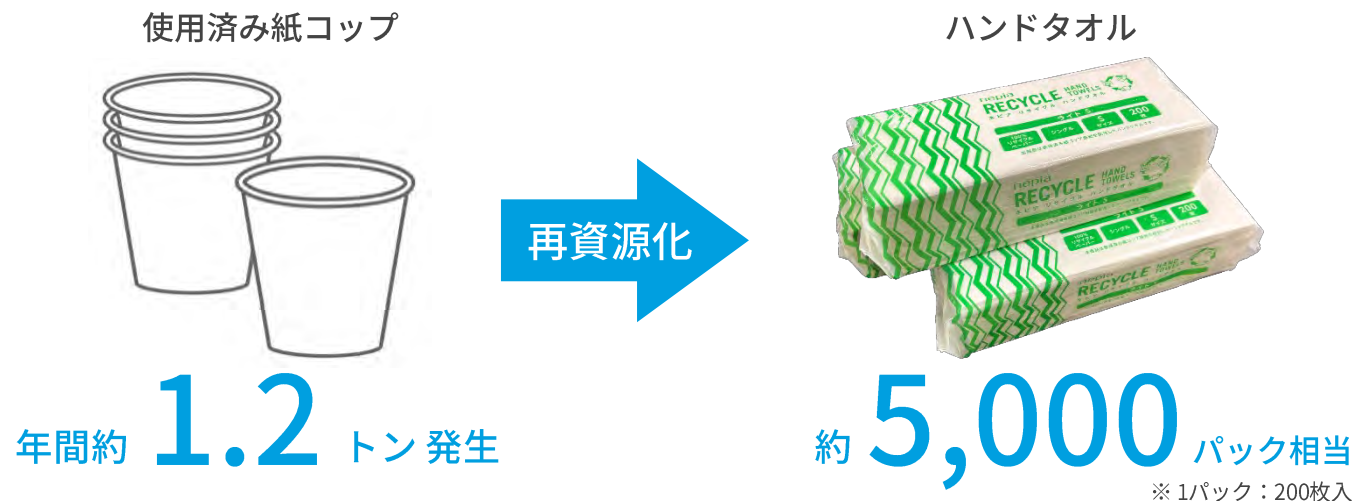
背景

紙コップは一般的に耐水性を持たせるため、プラスチックラミネート加工が施されている。そのため古紙回収に出せない禁忌品扱いとされ、**ほとんどは可燃ごみとして焼却処分**されている。

「環境行動目標2030」古紙利用率70%以上に向けた取り組みの一つとして様々な紙容器をリサイクルできるようなシステム構築を進めている。

【取り組み内容】

開始時期	2024年7月～
回収拠点	長野県軽井沢町
再生資源	飲泉、飲水で使用了紙コップ
再生品	nepiaハンドタオル



星野温泉 トンボの湯にて発生する「使用済み紙コップ」を
「ハンドタオル」にマテリアルリサイクル



④脱プラスチック社会への対応（コンテスト入賞）

王子マテリア開発の透明化しやすくした原紙「サンカヨウ」を使用した2作品がジャパンスター賞受賞

➡ 紙自体を透明に加工する「紙エール加工」によりプラスチック代替素材として紙単体のパッケージを実現



ジャパンスター賞

[経済産業大臣賞] ※最高賞

『紙エール デザインウインドウ』

日本紙パルプ商事(株)様／(株)イムラ様
使用原紙：王子マテリア(株)「サンカヨウ」



ジャパンスター賞

[日本貿易振興機構(ジェトロ) 理事長賞]

『セーラー万年筆 ふでDE まんねん』

セーラー万年筆(株)様／(株)イムラ様
使用原紙：王子マテリア(株)「サンカヨウ」

2024日本パッケージングコンテスト受賞作品

包装技術賞／適正包装賞

『大改善!!!全てを兼ね備えた
「住宅用下方放出型自動消火装置ケース」』



包装部門賞／食品包装部門賞

『720g UDエコペット』



包装部門賞／食品包装部門賞

『バイオ OPS 容器 蓋（マスバランス方式による
バイオマス割当ポリスチレン容器）』



包装部門賞／日用品・雑貨部門賞

『エコパッケージ花火』



包装部門賞／日用品・雑貨部門賞

『キャットパズルボックス』



包装部門賞／輸送包装部門賞

『Bee スター1000』



包装部門賞／工業包装部門賞

『天井吊形エアコンの梱包材接着レス化』



包装部門賞／大型・重量物包装部門賞

『強度も安心なアメリカンロックでハイプル化』



包装部門賞／大型・重量物包装部門賞

『フェンダーカートン』



⑤ 脱プラスチック社会への対応（東京パック出展）

包装資材分野：2024東京国際包装展（東京パック）出展（2024.10.23～25）

➡ テーマ：「GREEN INNOVATION 一次のフロンティアへ」

環境配慮型製品の拡大を目指す当グループはサステナブル包装資材のトータルパッケージングプロバイダーとして3つのソリューションを中心に紹介。来場者の様々なご要望に対して具体的なソリューションを提示することができた。

東京パック来場登録者数：70,712名 王子グループブース来場者数：16,836名
王子グループ展示内容紹介サイト：<https://oji-tokypack2024.com>



[紙化ソリューション]



環境配慮型紙製品の開発および提供により社会で流通するプラスチックの削減実績を紹介。さらに社会ニーズに応える開発品を含め多数の紙製品を紹介。

※1 サンカヨウ ※2 オハジキ ※3 シルビオクリア
※4 エコマルチ・コンビ ※5 レイテスト®パイオ
※6 紙100%青果用窓あき袋

[グローバルソリューション]



先行するEUの包装及び包装廃棄物規制に適合したソリューションとして、フィンランド・Walki社の環境配慮型包装資材の紹介と欧州を中心に多くのブランドオーナー様にプラスチック容器の代替として採用されている高品質パルプモールドを紹介。

※1 Walki社製品 ※2 Deluxe社製品

[リサイクルソリューション]



紙コップ・アルミ付き紙パックのリサイクルシステム構築と再資源化事例を紹介。

※1 段ボール ※2 ハンドタオル ※3 紙器箱

カーボンニュートラルな世界へ向けた取り組み

1890

木質資源を紙へ

木材パルプ製造開始

木質資源を紙以外の素材へ活用

サステナブルな木質資源の活用を通じた
カーボンニュートラルな世界の実現

木質由来糖液・エタノール

ベンチプラントでの開発
(完了)



トピックス
①
▶ p.40

木質由来糖液・エタノール
パイロット設備



トピックス
②
▶ p.41

バイオものづくりエコシステム
構築事業

パイロットプラントでの課題の洗い出し

本生産

【取り組み事例】

- ・ フィルムやラミネート紙に使用可能な**ポリ乳酸**
- ・ SAFに使用可能な**エタノール**
- ・ ゴム・繊維に使用可能な**石油代替素材**
- ・ 自動車内装材等へ使用可能な**セルロース樹脂複合ペレット**
- ・ **医薬品**
- ・ 燃料電池用高分子電解質膜
- ・ 半導体素材**バイオマスレジスト**
- ・ 純国産**e-メタン**

トピックス
③
▶ p.42

セルロース樹脂複合ペレット
ラインナップ拡充

トピックス
④
▶ p.43

甘草・木質由来医薬品
事業化に向けた体制構築

①米子の木質由来糖液・エタノールパイロット設備の進捗

石油由来燃料・プラスチックをサステナブルな“木質由来”に置き換え、脱炭素化に貢献



※ バイオケミカル製造を担う企業にて、発酵等の技術を組合せ、石油代替素材の製造に応用
“ポリ乳酸”、“エタノール”は、王子グループのバイオケミカル製品の代表例

木質由来糖液・エタノール パイロット設備計画概要

当初計画通り、順調に進捗中

糖液 2024年12月
エタノール 2025年3月頃完成予定

- ・場所：王子製紙 米子工場
- ・木質由来糖液 最大 3,000 t／年
- ・木質由来エタノール 最大 1,000 kL／年

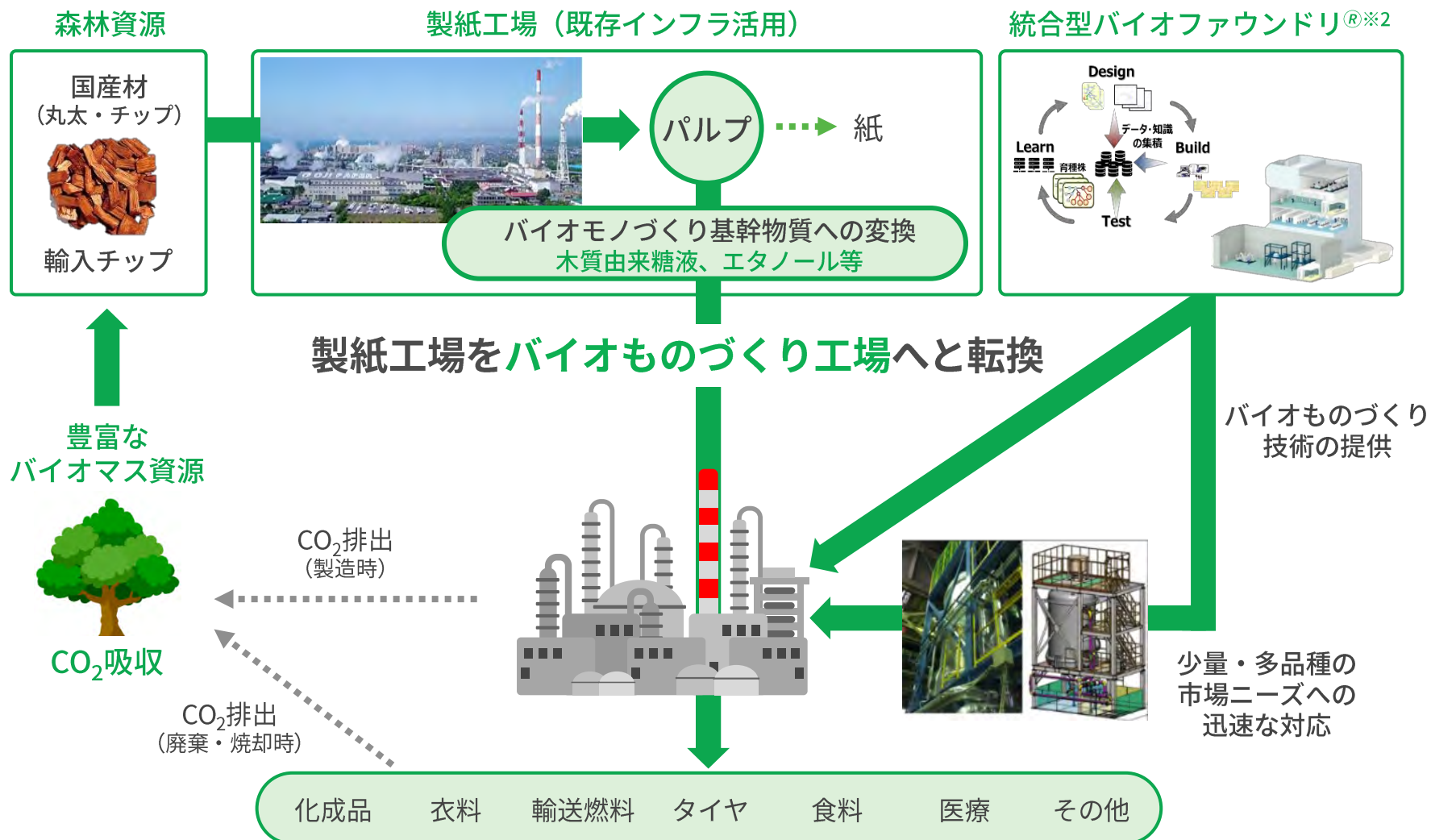


パイロット設備 施工状況

②木質等の未利用資源を活用したバイオものづくりエコシステム※1構築事業

6社コンソーシアムが「NEDOバイオものづくり革命推進事業」に採択

王子ホールディングス(株) (幹事会社)、(株)バックス・バイオイノベーション、日揮ホールディングス(株)、(株)ENEOSマテリアル、大阪ガス(株)、東レ(株)



王子HDの役割

- 紙の需要減に伴い余剰となる数10万tの木材チップ・古紙を未利用資源として活用
- 木材から、社会的課題を解決する素材「木質由来糖液・エタノール・ポリ乳酸」の開発および工業化に向けた生産実証、製品化検討を行う

※1:エコシステム

同じ分野の企業の製品同士が連携、あるいは異業種の企業が、それぞれの技術やノウハウを共有しながら、収益を上げる構造

※2:統合型バイオフィアウンドリ®

微生物の開発・改良から培養槽のスケールアップ、生産プロセスの開発までをワンストップで手掛けるバイオものづくりプラットフォーム

③セルロース樹脂複合ペレット「タフセル」シリーズ、ラインナップ拡充

アセトアルデヒド発生量が少ない「タフセルペレットVF」を開発

従来品

セルロース樹脂ペレット
「タフセルペレット」



- 様々な形状に成形が可能な粒状(ペレット状)
- 王子の独自製法で製造
 - ➡ パルプと樹脂を均一に分散し、強度と耐衝撃性を両立
 - ➡ パルプへのダメージが少なく、白い
- セルロース配合率は最大52%
 - ➡ 減プラに対応

課題・要望

- ・ 大型の自動車用内装材などへの適用には、人体に悪影響があるVOC(*1)の発生がネック
- ・ 溶かした材料を型に流す時により流れやすくしてほしい

*1)揮発性有機化合物 (Volatile Organic Compounds)
アセトアルデヒドもVOCの一種

新開発

アセトアルデヒド発生量が少ない
「タフセルペレットVF」

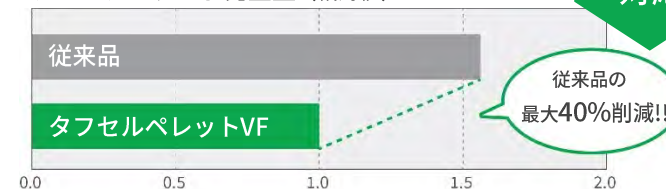


高強度

高い
白色度

減プラに
対応

アセトアルデヒド発生量 (相対値)



従来品の特長はそのままに

- ・ 射出成形時に発生するアセトアルデヒドを削減
- ・ 材料の流れやすさも改良

タフセルペレットVF



ユーザーワーク開始 ▶ 自動車内装材等への採用 ▶ 供給体制の拡充

④ 甘草・木質由来医薬品 — 事業化に向けた体制構築

甘草の「独自育種技術」による大規模栽培の成功

従来の野生甘草採取（輸入品）によらない持続可能ビジネスの実現
医薬品に加え、化粧品・食品分野への展開



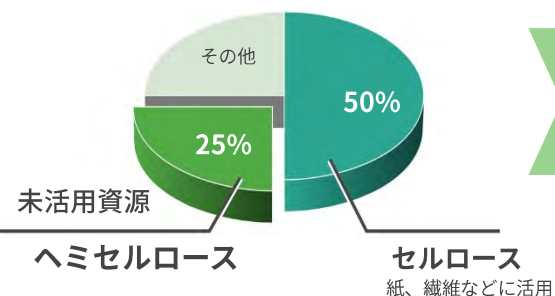
王子ファーマが第一種・第二種医薬品製造販売業許可を取得

木質由来医薬品の開発



- 持続可能な開発
- ハラル対応の医薬品
- 安定供給
- 中国依存の脱却

木材成分



硫酸化ヘミセルロース

動物用/人用医薬品として開発中

医薬品製造販売業

第一種

自社の処方箋医薬品を

- 薬局開設者
- 卸売販売業者

に対して販売できる

第二種

自社の一般用医薬品を

- 薬局開設者
- 卸売販売業者
- 店舗販売業者
- 配置販売業者

に対して販売できる

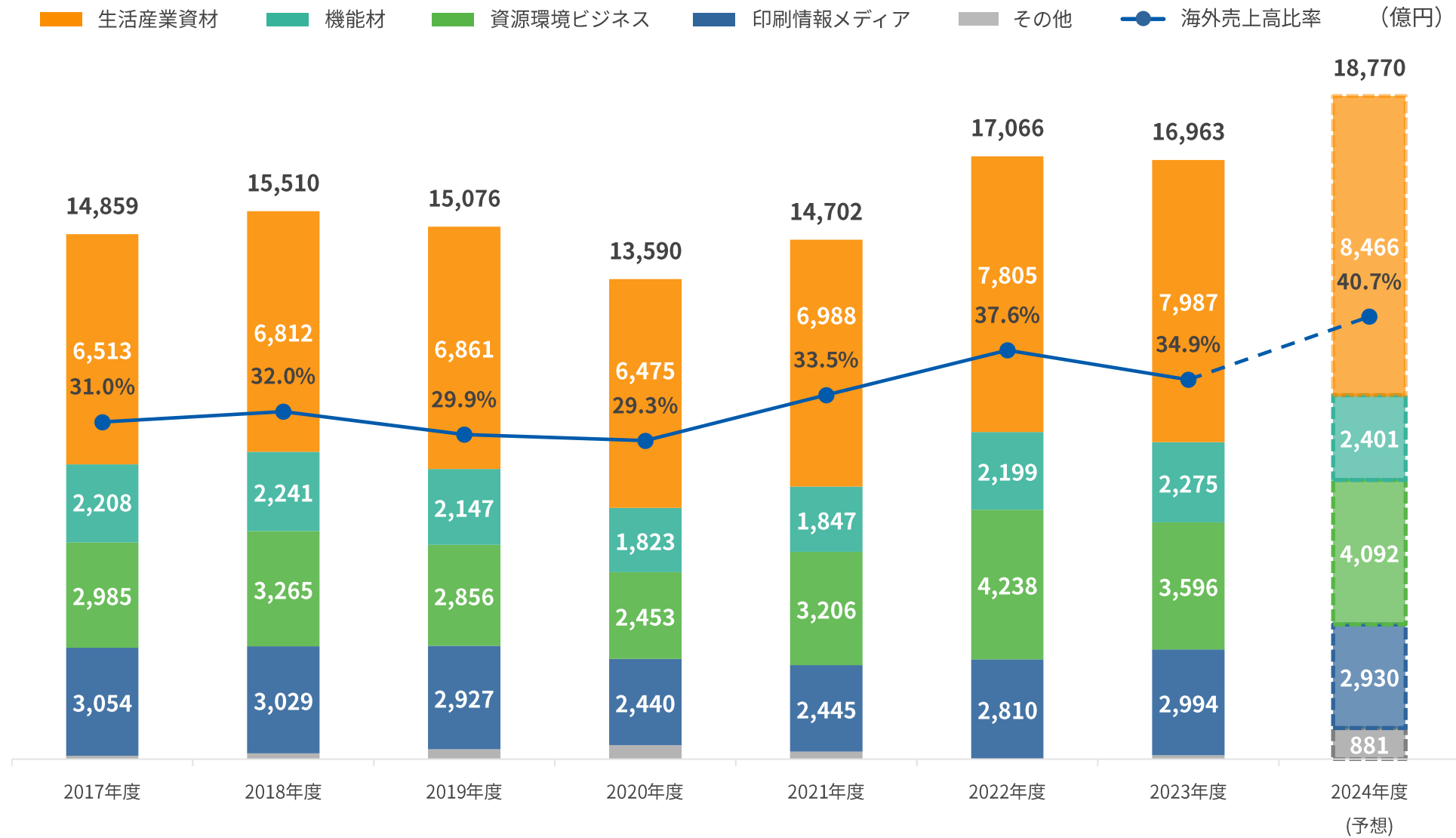
医薬品を国内市場に
流通させる体制が整った

漢方薬を含む医薬品販売の展開を加速

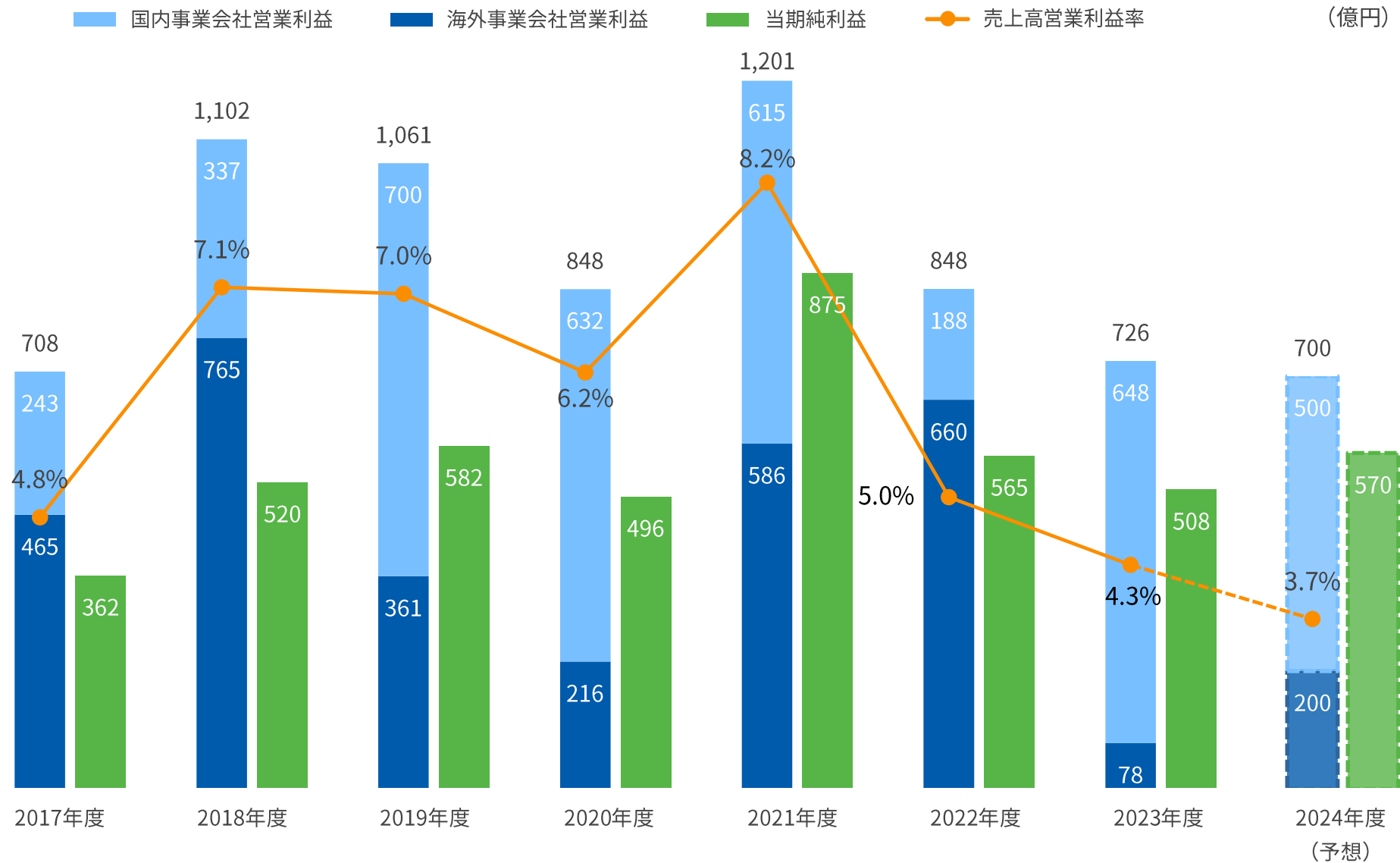
04

決算参考資料

セグメント別売上高推移



連結営業利益推移

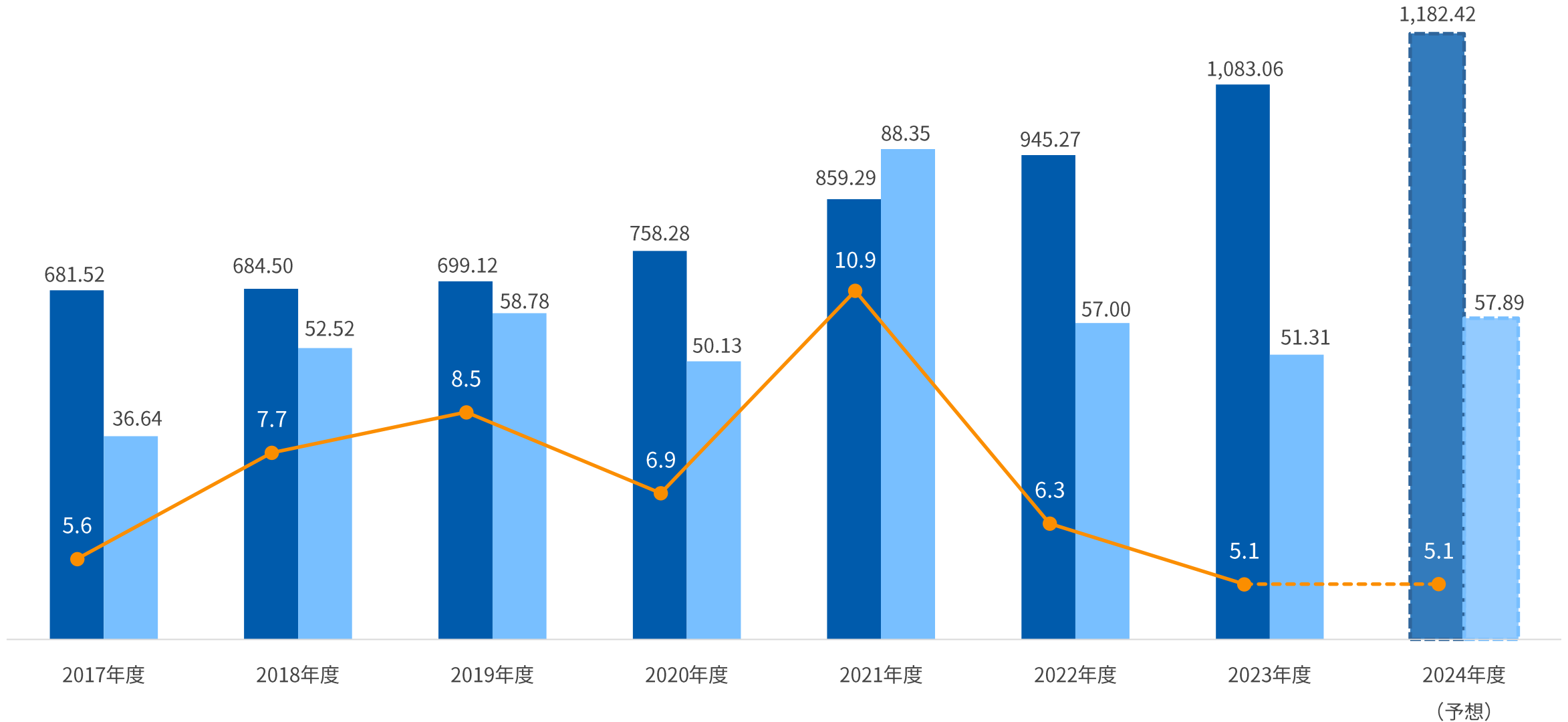


自己資本利益率(ROE)推移

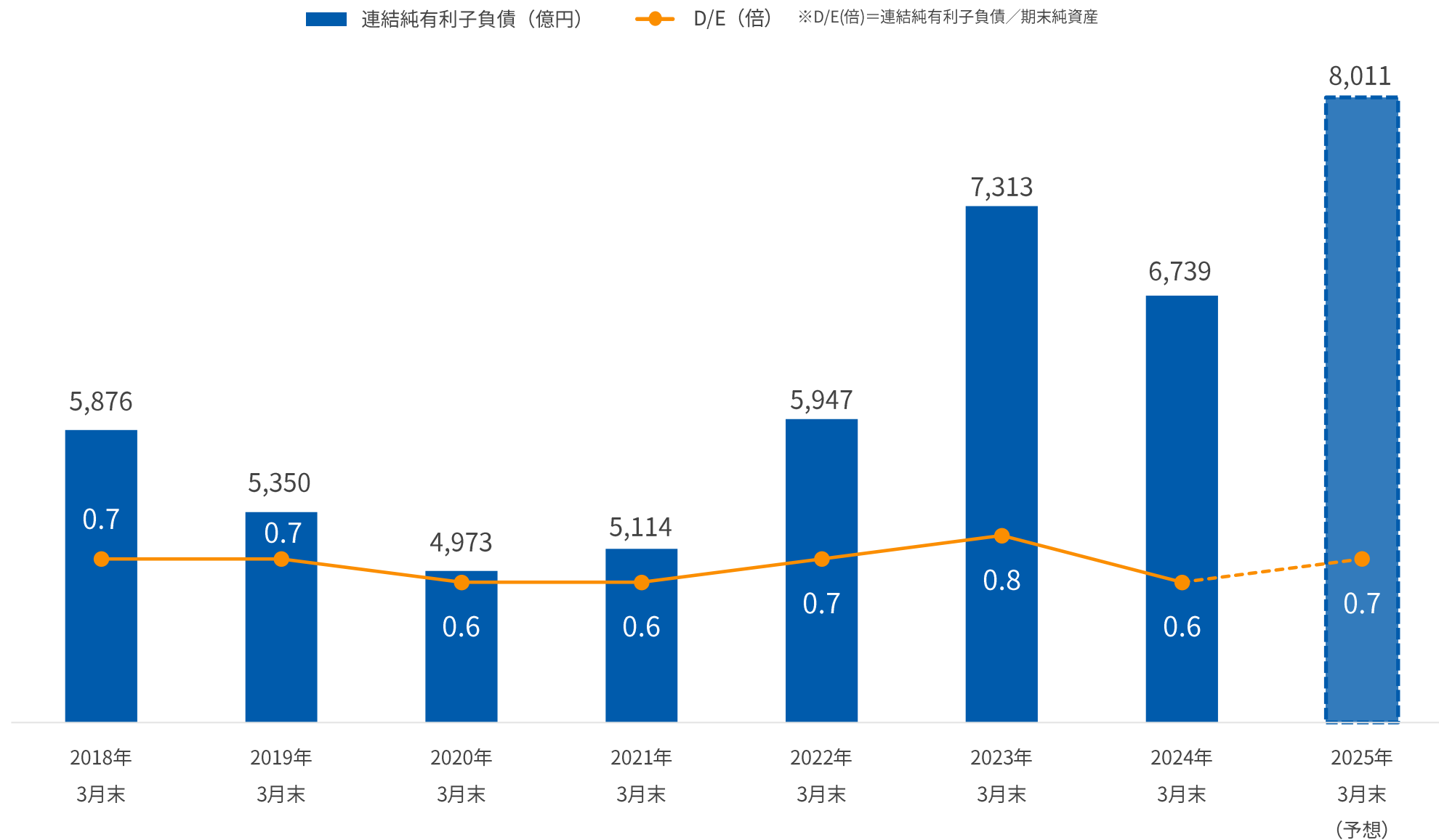


OJI HOLDINGS

■ 1株当たり純資産 (円) ■ 1株当たり当期純利益 (円) ● ROE (%)



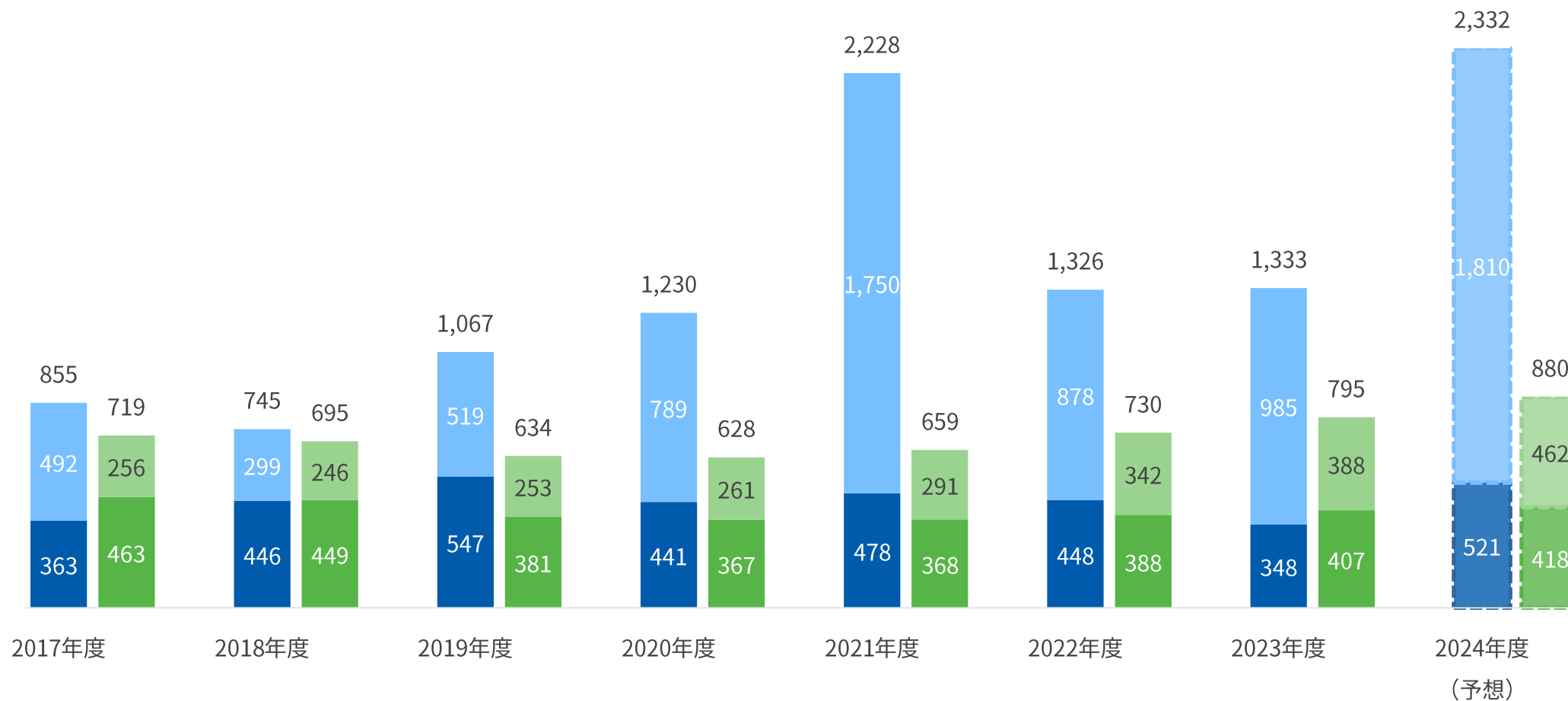
連結純有利子負債残高推移



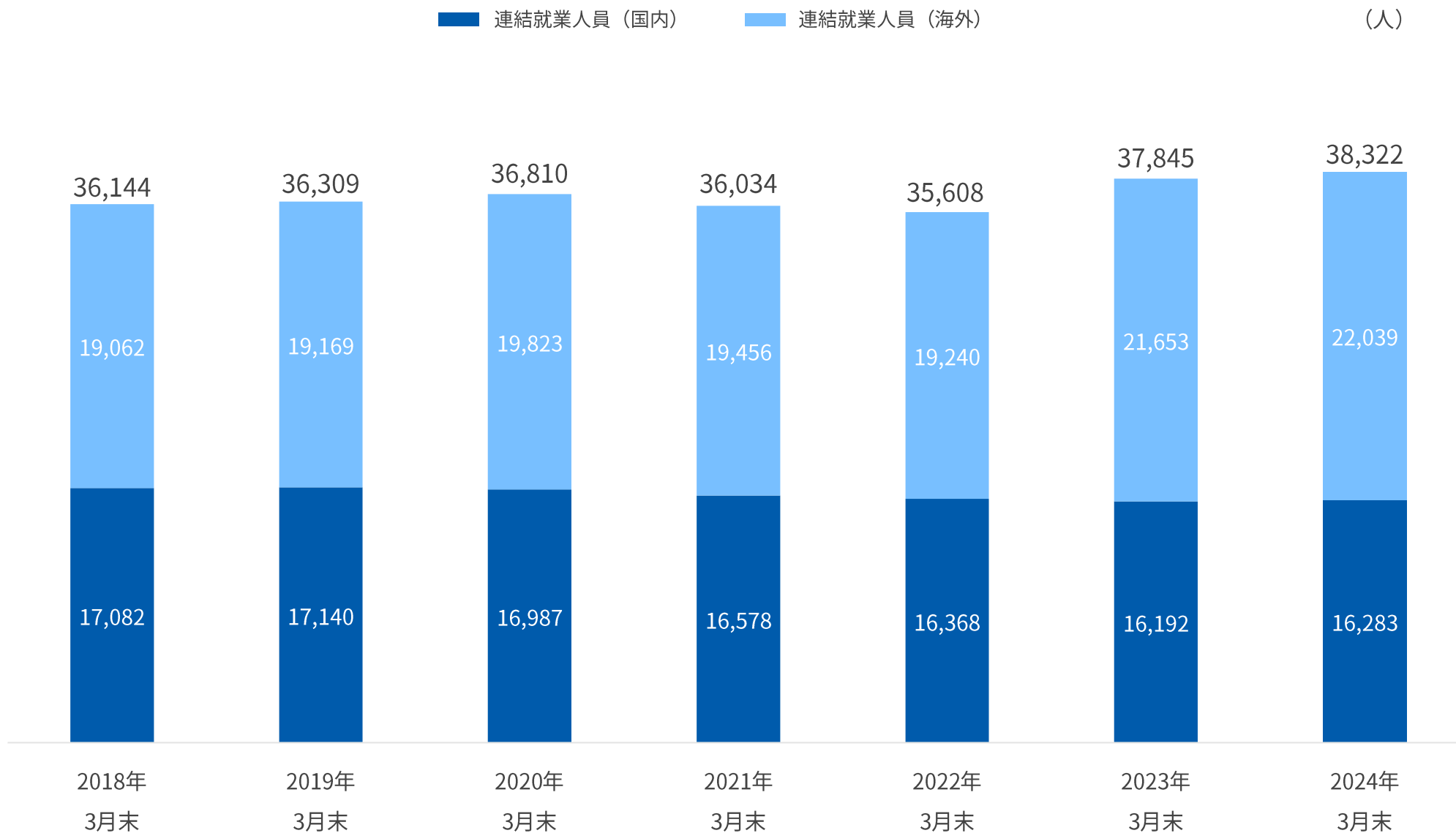
連結設備投融資・減価償却費推移

■ 国内設備投融資 ■ 海外設備投融資 ■ 国内減価償却費 ■ 海外減価償却費

(億円)



連結就業人員推移



2024年度2Q累計 業界需要動向



OJI HOLDINGS

(単位：千t)

		国内出荷高		輸入紙（通関）※1		合計	
			前年比		前年比		前年比
板紙	段ボール原紙	4,324	99.4%	13	119.9%	4,336	99.4%
	紙器用板紙	721	102.1%	103	108.8%	824	102.9%
	その他の板紙	278	100.4%	11	78.6%	289	99.4%
	小計 (板紙)	5,323	99.8%	126	106.3%	5,449	99.9%
紙	衛生用紙	915	101.4%	122	103.9%※2	1,037	101.7%
	包装用紙	298	100.0%	6	117.3%	304	100.3%
	新聞用紙	748	90.5%	0	40.2%	749	90.5%
	印刷・情報用紙	2,277	92.6%	259	98.4%	2,536	93.2%
	雑種紙他	271	106.3%	10	134.8%	281	107.1%
小計 (紙)		4,509	95.1%	397	100.9%	4,907	95.6%
合計 (板紙+紙)		9,833	97.6%	523	102.1%	10,356	97.8%

(単位：百万㎡)

段ボール ※3	7,069	99.9%	——	——	7,069	99.9%
---------	-------	-------	----	----	-------	-------

出典：「日本製紙連合会紙・板紙需給統計」、「財務省貿易統計」、「全国段ボール工業組合連合会段ボール生産量」

※ 1：輸入紙（通関）の実績は2024年4月～2024年9月（速報）の実績

※ 2：衛生用紙の輸入紙（通関）に二次製品（加工品）を含む

※ 3：段ボールの数量は生産量（貼合されたシートの総量）